

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 25 日作成)

小委員会名	建築物気候変動対策小委員会		主 査 名：高木直樹 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会		委員長名：外岡 豊
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動に対する対策として、フォアキャスト的な対策を検討しながらも、長期的な視点に立った対策の推進について、建築分野の果たすべき役割を明らかにする。 ・地方自治体の対策を支援するために何が必要か検討する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	高木直樹(信州大学)、横尾昇剛(宇都宮大学)、三浦秀一(東北芸術工科大学) 下田吉之(大阪大学)、外岡豊(埼玉大学)、吉田知弘(東京電力)、 今成岳人(東京ガス)、大野二郎(日本設計)、立原敦(立原環境建築技術士事務所)、 上野剛(電力中央研究所・狛江研究所)、長谷川兼一(秋田県立大学) 依田浩敏(近畿大学)、村木美貴(千葉大学)、池田正基、宮坂雅子		
設置 WG			
2014 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	IPCC 第 5 次報告書 WG3 に関する公開勉強会 参加者数 15 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. IPCC5 次報告書の公表に伴い、2 回の公開の勉強会を開催した。このことは 会員への情報提供としては有効で合った。 2. 当初経過腕は国や地方自治体における温暖化対策をまとめる予定であった が、できなかった。
委員会活動の問題点 ・課題	地方の委員が多く集まりにくい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。